

ちくさ福祉ネットワーク

第4号



編集:千種小学校区小域福祉ネットワーク事務局 発行責任者:千種小学校区小域福祉ネットワーク 会長:杉山興司

台風15号、19号で千種地区も被害甚大

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えても、まだ今年の台風被害から、復旧されていないご家庭も多いことと思います。

続けざまにやってきた台風15号、19号、それに21号に伴う豪雨によって、この千種地区も甚大な被害にあいました。

被災された皆さまには、こころよりお見舞い申し上げます。

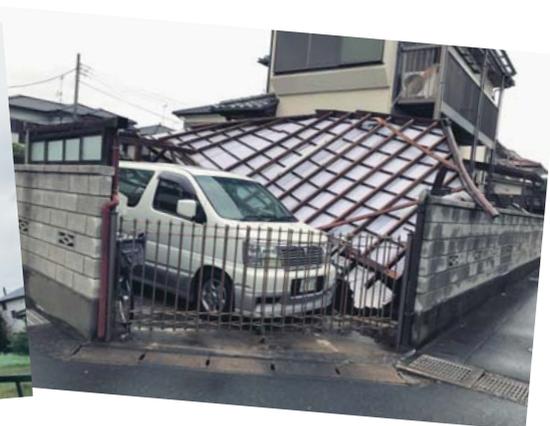
なかでも、台風15号の暴風雨では、市内のいたるところで、屋根瓦や外壁、電柱や樹木に甚大な被害を受け、その為の断水や停電、道路の遮断まで、広範囲な影響を受けました。



倒木による道路の通行止め

千種地区では、台風19号の時に、千種コミュニティセンターと千種中学校を避難所に開放しましたが、千種コミュニティセンターには約200名が避難し、千種中は10数名が利用しました。

屋根を直そうとしても300人待ちと言われ、業者さんに下見にも来てもらえない人も多く見られました。



防災について 考えましょう



昔から怖いものの例えとして「地震、雷、火事、おやじ」と言われていますが、さて「おやじ」とは何のことでしょうか？「おやじ」とは、子どもの頃に怖かった父親でなく、山嵐（やまじ）又は大山嵐（おおやまじ）がなまったといわれています。

気象災害とは、台風や集中豪雨によって起こる災害（土砂災害、浸水害、洪水害、暴風・竜巻による災害、高潮・高波による災害等）が挙げられます。

去年は立て続けに「おやじ」災害が千葉県を襲いました。9月9日 台風15号（暴風）、10月12日 台風19号（竜巻・豪雨）、10月25日 台風21号（千葉県豪雨）の来襲です。これらの災害から身を守るためには、気象庁あるいは、市町村の発表する「警戒レベル1から警戒レベル5」による注意情報や避難勧告・避難指示（緊急）に従い、速やかに避難することが身を守ることになります。

警戒レベル5	災害発生情報	すでに災害が発生しています。命を守るための最善の行動をとりましょう。
警戒レベル4	避難勧告・避難指示（緊急）	速やかに避難しましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所へ避難しましょう。
警戒レベル3	避難準備 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児）とその支援者は避難しましょう。その他の人は準備開始。
警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報	今後、大雨注意報などが発表される可能性があります。災害への心構えを高めましょう。

*「過去に災害が無かったから今回も大丈夫」は、通用しなくなっています。

*雨・風対策+長期の停電・断水・通信障害への備えが必要となります。

*避難する場合に道路など10cm以上の水没や流れが有る場合は、歩行が困難となり危険なので、2階以上の建物に移動するなど、垂直避難が必要となります。

ちぐさ福祉ネットワークでは、こんな活動もしています



千種小の校門前ですのぼりが裏返しですが「あいさつ運動実施中」です



千種フェスティバルですふわふわ犬の中で子どもたちがとんだり跳ねたり

千種コミセンでの茶話会です
軽体操で身体をほぐしましょう





見守り支援活動
一人暮らしの高齢者を
主に見守ります



**若葉小、白金小の小域福祉ネットワークと
合同の研修会です**
それぞれの地域でのやり方が、
お互いに刺激になっています



茶話会でのボッチャゲーム
初めてでも、とても皆さん上手でした



広報紙の編集会議
この広報紙
「ちぐさ福祉ネットワーク」は
このメンバーで作られています



五井大市への参加
12月7日(土)、8日(日)の大市で
五井地区社協の募金活動に参加しました
小さなお手々で募金、ありがとう



歳末たすけあい運動の高齢者食事会
一人暮らしの高齢者と高齢者世帯を対象に
食事会を開きました
遊び亭 酔生さんの落語で大笑い

千種
こぼれ話

今津朝山の
「田中の地蔵様」

潮見通り今津朝山公民館そばの交差点を内房線の方に行くと、右側に地蔵堂があります。

正式には、田中山稻荷寺、通称、田中の地蔵様と呼ばれています。元々は海音寺に安置されていたそうですが、海音寺が廃寺になると延命寺に移され、さらにその後、今の場所にお堂を作りまつられるようになったといえます。



田中地蔵尊外部

当時は田んぼの中だったので、田中の地蔵尊と呼ばれるようになりましたが、いつからか「今津のいぼ取り地蔵尊」として近郷近在から人が集まり、毎月旧暦二十四日の縁日には、露天商や茶店が出て賑わったといえます。

今の静かなたたずまいからは、信じられないような光景だったようです。

このいぼ取り地蔵様に願をかけ、いぼが取れたらお礼には小石を奉納したと記録されています。次に願をかけに来た人は、この小石で自分のいぼをこすり、いぼが取れるように祈ったそうです。

ちょっと調べてみると、千葉県には76カ所のいぼ神様、仏さまがあり、お地蔵さんだけでも33カ所ありました。昔はそんなにいぼがある人が多かったのか、いぼを絶対に取らなければなら



田中地蔵尊内部

なかったのか、不思議に思えます。もしかしたら、昔は疱瘡（天然痘）であばたになっていた人が多かったため、その治療に願をかけたのでしょうか。詳しい方がいればご教示ください。



被災者に贈る花言葉

さざんか

「困難に打ち勝つ」

「ひたむきさ」 など

2019年は、台風15号・19号の暴風、21号の接近による水害・土砂崩れで被災された方がたくさんおられました。困難に打ち勝つて元の暮らしを取り戻しましょう。

(編集子)

